

ご自由にお取りください



独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO大阪病院

No. **57**
2024

Open Com

オープン・コム

特集

脳卒中センター(脳神経内科・脳神経外科)

～24H/7D 地域脳卒中診療を支える～



JCHO大阪病院 理念

あしたのしせい+

より最適な医療と温かいところで、「あなた」と「地域」を支えます

JCHO 大阪病院脳卒中センターでは、脳神経内科と脳神経外科が連携し、救急車の受け入れから診断、治療、リハビリテーションまで一貫した診療にあたっています。当院脳卒中センターは、24時間365日の受け入れ体制を整えており、日本脳卒中学会のPSCコア（1次脳卒中センターコア、大阪府内25施設）に認定され、地域脳卒中診療の基幹施設の役割を担っています。

目標

- 最高の脳卒中急性期治療
- 患者さんの立場に立った、安全で確実な治療
- 脳卒中は予防・再発予防が大事



脳卒中センターの連携・コミュニケーション

脳卒中ケアユニット（SCU）（9床）では、毎朝カンファレンスで脳神経内科と脳神経外科のスタッフ、リハビリテーション担当者、薬剤師、管理栄養士等が参加して、前日から脳卒中中で入院となった症例についての治療方針を検討しています。また、毎週火曜日の夕方には、医師、看護師、リハビリ担当、メディカルソーシャルワーカーを含めた脳卒中診療に関わる全員が参加してカンファレンスを行い、チーム医療を円滑に行えるように情報共有を密にしています。

脳神経内科と脳神経外科は外来診察室も同一レーンで行っており、両科の間の垣根は低く、お互いに相談しやすい関係です。特に、超急性期脳梗塞では、病院到着から、治療開始までの時間短縮が予後に大きく寄与するため、常に最良、最適なタイミングで急性期の血管内治療に取り組めるように、チーム内でのコミュニケーションが取りやすい環境づくりを心がけています。



脳卒中診療には不可欠となっている脳卒中ケアユニット（SCU）を9床備えています。厳密な全身管理を要する脳卒中症例にも対応可能な病床です。

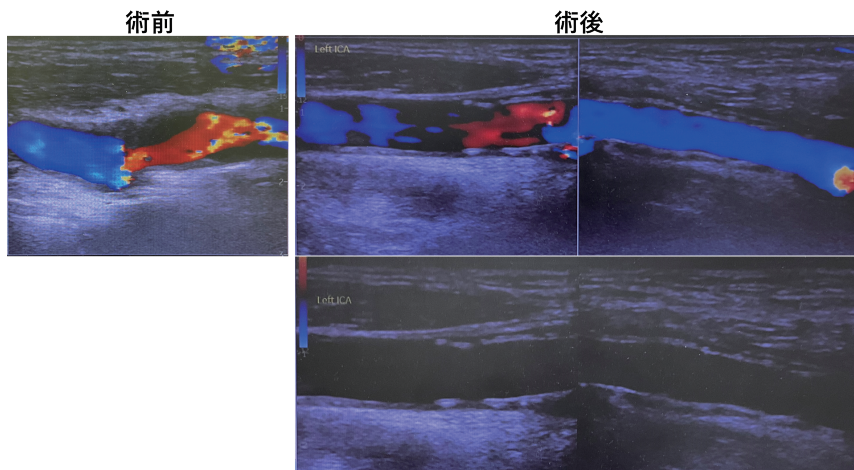
01 脳神経内科の紹介

脳卒中診療（超急性期治療）について

脳卒中には出血性（血管が裂けるタイプ）と虚血性（血管が詰まるタイプ）に大別されますが、脳神経内科では虚血性、すなわち脳梗塞の診療に注力しており、超急性期の治療にも脳外科と連携し脳血管内治療などを行っています。

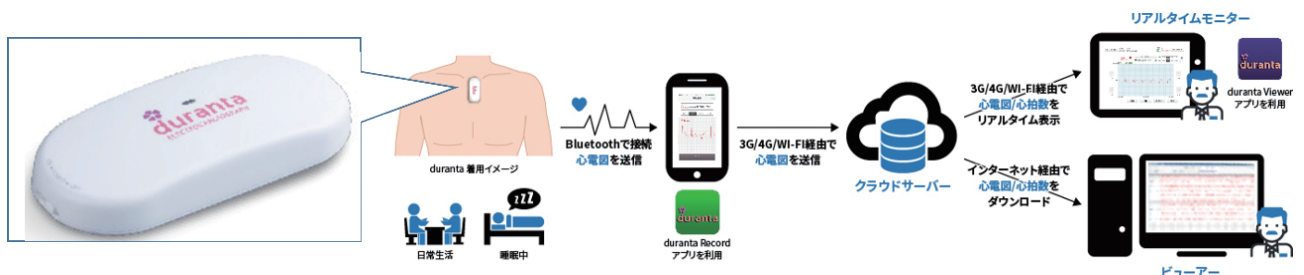
また、脳神経内科での脳梗塞診療のもう一つの柱として、「再発予防」にも特に力を入れています。脳梗塞を発症した患者さんでは、発症後 10 年以内に約 50%の方が脳梗塞を再発するとされ、特に、心房細動などの不整脈やその他の心疾患に関連するタイプ（心原性脳塞栓症）、動脈硬化もよる重要血管の狭窄・閉塞に関連するタイプ（アテローム血栓性脳梗塞）、で再発が多いと言われています。これら脳梗塞のタイプ（病型）により、抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を含めた治療方針が違ってくるため、病型診断は非常に重要です。

特に、心房細動は重症脳梗塞の原因となる他、認知症発症にも関連すると言われており、早期発見が肝となります。心房細動は出現・消失を繰り返すことも多いため、発見・診断に難渋することもしばしばですが、当院では、パッチ型心電計（下図）等の最新デバイスを使用するなど、心房細動の検出率向上に積極的に取り組んでいます。一方で、アテローム血栓性脳梗塞では、頸動脈狭窄が原因となっていることもしばしばであり、頸動脈エコーや頸部 MRA などの画像検査を駆使しながら病態を見極め、内科的治療のみでは再発予防が困難と考えられる症例に対しては、カテーテル治療の一つである頸動脈ステント留置術を行っています。

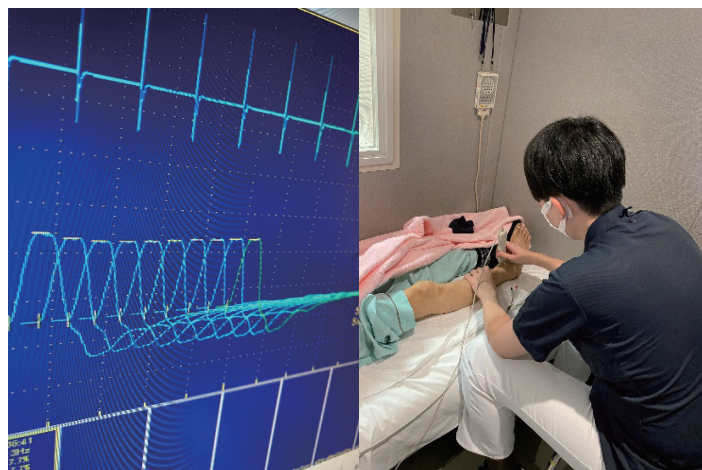


図：左内頸動脈起始部高度狭窄に対する頸動脈ステント留置術（自験例）

さらに、当院の強みとして、他科医師との強力な連携が挙げられます。脳梗塞を含めた脳血管障害に関連する疾患としては、上述のように心房細動などの心疾患や、動脈硬化関連疾患（高血圧症・高脂血症・糖尿病など）がありますが、当院ではいずれの疾患においてもスムーズな連携のもと、安定した全身管理を行うことができます。



図：パッチ型心電図



急性期対応が必要な神経疾患の内、最も多いものが脳卒中ですが神経症状を呈するすべての疾患が診療対象となります。神経診察の上、適切な検査を行い鑑別の上、加療を行います。以下の症状があればご紹介ください。

- ①歩行障害
- ②頭痛
- ③複視、脛がさがる
- ④痙攣
- ⑤物忘れ
- ⑥筋肉がやせる、検診で筋酵素の上昇を指摘された

地域の先生方へ

歩行障害を含む神経疾患による症状の中にはどこに紹介すればいいのかさえも判断に困ることもあるかと思いますが、「運動」、「感覚」「認知機能」など神経に関連する症状があればお気軽に当科に紹介いただければと思います。結果的に整形外科的な要因や、耳鼻科的要因が原因であったとしても、当科で責任をもって精査を行い、必要であれば該当科と連携し加療を行ってまいります。

患者さんへ

脳神経内科はひよとしたら敷居の高い印象があるかもしれませんが。近年神経疾患の治療の進歩は目覚ましく、新しい治療法も続々とでてきています。上記症状でお困りの場合は当科受診をご検討ください。

診療体制 (2024年1月1日現在)

日本神経内科学会専門医5名 (内、脳血管内治療医1名)

- ・高田 和城 (脳神経内科診療部長)
- ・寺川 晴彦 (リハビリテーション科診療部長)
- ・上田 周一 (SCUセンター長)
- ・村瀬 翔 (脳神経内科部長 (脳卒中・神経救急担当))
- ・山下 和哉 (脳神経内科医長)
- ・専攻医1名

02 脳神経外科の紹介

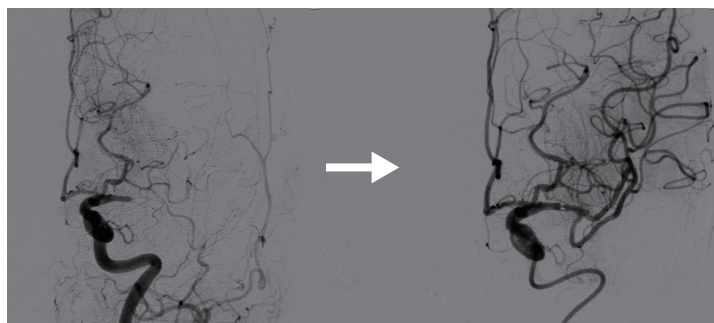
脳血管内治療の対象疾患と治療法

脳血管内治療とは血管内にカテーテルと呼ばれる細い管を挿入し血管の内側から病変を治療する方法です。直接体にメスを入れる直達手術と違い、皮膚や骨を切らずに大きな傷ができず、患者さんに及ぼすダメージが少ない低侵襲な治療法です。

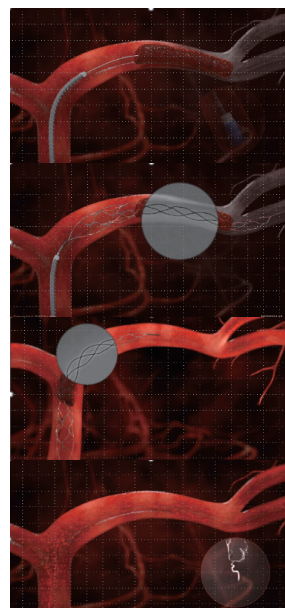
超急性期脳梗塞 (<8時間)

超急性期脳梗塞に対する治療として、従来の血栓溶解療法に続いて脳血管内治療が標準の治療となりました。

脳血管内治療はチーム医療ですので、当院では脳血管内治療専門医のみならず、脳神経外科医、脳神経内科医、救急医、看護師、放射線技師のチーム全体でスキルアップに努めています。



超急性期脳梗塞：経皮的血栓回収術（術前→術後）



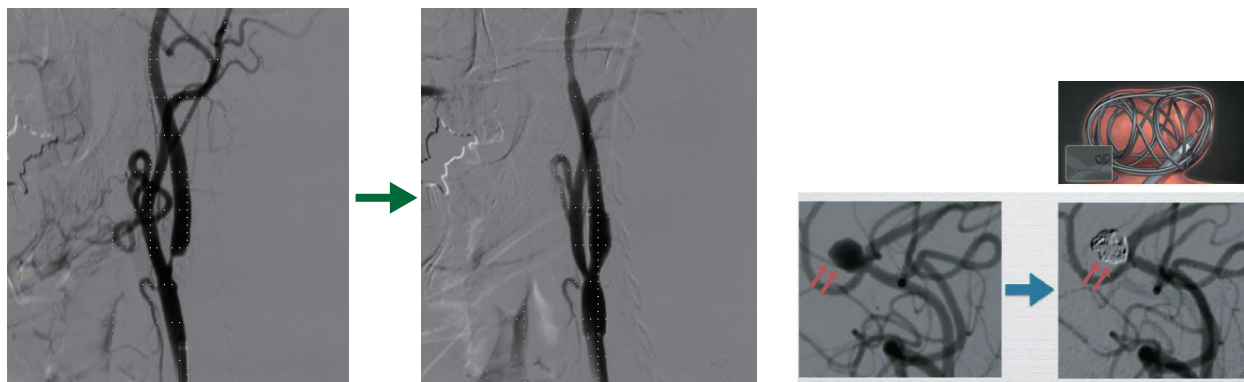
機械的血栓回収術（右）：ステントを広げて血栓を絡めとり、血栓を回収。再開通後（最下段）

脳血管内治療

脳動脈瘤のコイル塞栓術、内頸動脈狭窄症に対する頸動脈ステント留置術、動静脈奇形や硬膜動静脈瘻に対する塞栓術など幅広く治療を行っています。

日本脳血管内治療学会専門医が3名常勤しています。また大阪大学医学部附属病院の血管内治療部門と連携し、難易度の高い治療にも取り組んでいます。

2023年9月、最新の血管造影装置を導入し、さらに精度の高い治療が可能となりました。

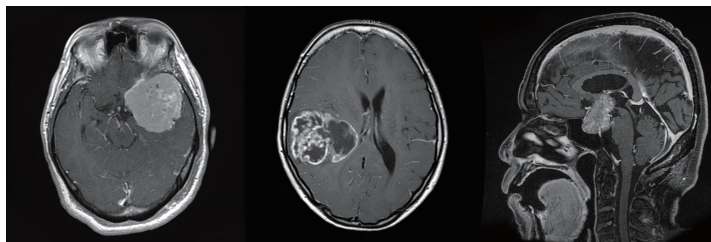


内頸動脈狭窄症ステント留置術（術前→術後）

脳腫瘍

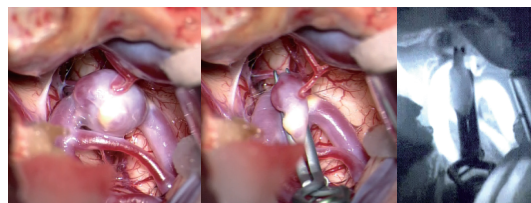
脳原発悪性腫瘍・良性腫瘍（髄膜腫、下垂体腺腫など）・転移性脳腫瘍など脳腫瘍全般の手術を行っています。顕微鏡下手術はもちろんのこと、必要あれば適宜ナビゲーションシステムや神経モニターを用いることで精度の高い手術を心がけています。

脳原発悪性腫瘍に対しては全例で遺伝子解析、分子診断を行うよう取り組んでいます。従来の病理学的な情報に加えて分子学的な特性を加味してオーダーメイドセラピーを行うよう心がけています。



脳血管障害

脳動脈瘤、もやもや病、頸部内頸動脈狭窄症、閉塞性脳血管障害などに対して、適応があれば、直達手術あるいは、脳血管内治療を施行しています。



中大脳動脈瘤クリッピング術
(クリップ前→クリップ後→ICG 蛍光染色)

地域の先生方へ

脳神経疾患（特に脳卒中）は、地域の医療機関が一体となり、連携を充実させることで、その治療の質は格段に上がっていくと考えています。当院では、脳卒中担当医がホットコールを 24 時間 365 日携帯し、緊急開頭手術、脳血管内治療、脳腫瘍、脳動脈瘤、脳血管障害、頭部外傷、水頭症など幅広い疾患に対応しており、従来からの開頭術だけでなく、適応があれば、脳血管内治療、経鼻手術、放射線治療など低侵襲な医療を提供しています。JCHO 大阪病院が地域医療において果たすべき役割をよく考え、地域の先生方と協力してより良い診療を目指しています。

患者さんへ

脳卒中は予防が最も重要です。

しかし、万が一、脳卒中になってしまった場合は早期の治療が必要です。「体の半身が動かない」、「言葉が出ない、呂律がまわらない」、「突然意識が悪くなる」などの症状が生じた場合は、早期の治療が重要ですので、躊躇せず救急要請をしてください。

診療体制（2024 年 1 月 1 日現在）

日本脳神経外科学会専門医 3 名（内、日本脳血管内治療学会専門医 2 名）

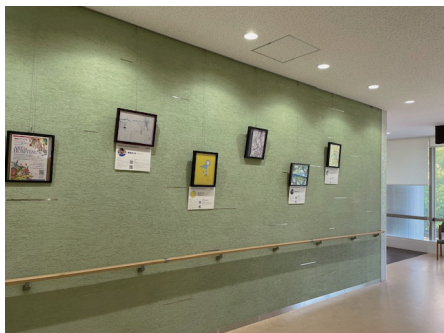
- ・ 榊 孝之（脳神経外科診療部長）
- ・ 山際 啓典（脳神経外科部長（脳血管内手術担当））
- ・ 呉村 有紀（脳神経外科医長）
- ・ 専攻医 1 名

「ART in HOSPITAL」とは、イギリス・アメリカ・カナダ・オーストラリア・スウェーデンなどの欧米で 20 年以上の歴史がある医療環境を癒やしの空間とする取り組みです。

当院では、FM802.FMCOCOLO のアートプロジェクト活動（dig me out）と連携し、病院に多くの作品を展示し、患者さんや医療従事者を元気づけ、癒し、励ますことができることを目的としています。

2022 年度から活動をはじめ、多くの皆さまから喜びや活動に対する応援メッセージをいただきました。これまでに約 100 種類の ART 作品を外来や病棟に展示して、気に入った作品をプレゼントする企画も行っており、2023 年 10 月に開催したオープンキャンパスでは、院内スタンプラリーを達成された方に作品をプレゼントさせていただきました。

今後もより多くの作品で、病院を彩りあふれる空間とし、すべての方が心豊かになれるように活動を続けてまいります。



病院にアートを！

FM802 / FM COCOLO の
アートプロジェクト dig^{me}out との
コラボレーションで実現した

ART in HOSPITAL

病院には様々な人々が訪れます。また医師、看護師はじめ
たくさんの人々が従事しています。病院のあらゆる人々に少しでも心豊かに
なっていきたいという想いで「ART in HOSPITAL」をスタート致しました。
病院でアートをお楽しみいただける環境を皆さんと一緒に創っていきたく考えています。

「BUY1 Pay forward 1」で
病院に届けられた新進気鋭の作家による
作品をお楽しみください。
詳しくは下記QRコードをご参照ください。



FM802
FMCOCOLO
dig^{me}out

JCHO 大阪病院の受診について

予約なしで受診

◆ 紹介状をお持ちでない場合も、受診いただくことができます。

紹介状をお持ちでない場合は、選定療養費がかかることがありますので、ご了承ください。

◆ ご都合の良い日に、紹介状を持参し、11:30 までに受付へお越しください。

※診療のスケジュールをご確認の上、ご来院ください。

※整形外科、耳鼻いんこう科、神経精神科、放射線治療科、ペインクリニック科は完全予約制です。
かかりつけ医にご相談ください。

かかりつけ医からの紹介予約

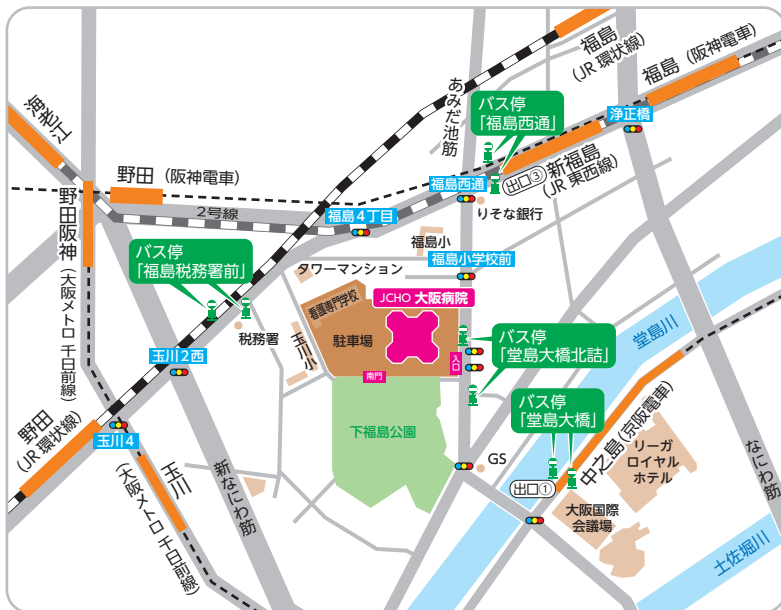
① FAX又は電話で予約してください。

- ・ FAXの場合は、「診察予約申込書」に記入して地域連携室へ送り、返送された「予約通知書」を患者さんにお渡しください。
- ・ 電話の場合は、「診察予約申込書兼予約通知書」に記入し、医療機関専用予約電話(申込書に記載)にて予約をとり、患者さんにお渡しください。

② 予約通知書と紹介状を持参して予約日にご来院ください。

※申込書は当院ホームページ「医療関係者の皆様へ」からダウンロードできます。

アクセス



■ JR 東西線

「新福島駅」下車徒歩 5 分

出口 1 にはエレベーター、出口 2 にはエスカレーターがございます
※当院に一番近い出口 3 には階段しかございません

■ 京阪電車

「中之島駅」下車徒歩 5 分

■ JR 環状線

「福島駅」下車徒歩 10 分

■ 阪神電車

「福島駅」下車徒歩 10 分、「野田駅」徒歩 15 分

■ 地下鉄

「千日前線玉川駅」下車徒歩 10 分

■ 市バス

「大阪駅前」鶴町四丁目 [55] 方面 「堂島大橋北詰」下車 すぐ
「大阪駅前」西島車庫前 [56] 方面 「福島西通」下車 徒歩 5 分
「大阪駅前」西島車庫前 [56] 方面 「大阪福島税務署」下車 徒歩 5 分
「大阪駅前」船津橋 [53] 方面 「堂島大橋」下車 徒歩 5 分

■ タクシー

「大阪駅」より約 10 分



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院 / 大阪府がん診療拠点病院

JCHO (ジェイコー) 大阪病院 信頼に応える医療

独立行政法人地域医療機能推進機構

〒553-003 大阪府大阪市福島区福島4-2-78

TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900

<https://osaka.jcho.go.jp/> この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報委員会宛まで

JCHO 大阪病院

検索

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者 / 「働きやすい病院」認定病院 (第1号) / につけ子育て支援大賞受賞 / 女性のチャレンジ支援賞 (内閣府) 受賞

JCHO大阪病院SNSはこちら



LINE



Facebook



Instagram



広報誌バックナンバー



古くより四つ葉のクローバーは「見つけた人には幸運が訪れる」という言い伝えがあります。当院は患者さんや地域の皆様幸せになるお手伝いができるよう四つ葉のクローバーの形を建物のモチーフにしております。

オープン・コム 57号 2024年1月発行
本誌の無断転載・複製は禁じます。